

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の貸出について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

ままならない現実を抱えて生きる人たちの物語
一穂 ミチ 著/『スモールワールズ』

講談社
小説

夫婦円満を装う主婦と家庭に恵まれない少年。「秘密」を抱えて出戻った姉とふたび暮らす高校生の弟。初孫の誕生に喜び祖母と娘家族。人知れず手紙を交わし続ける男と女。向き合うことができなかった父と子…。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描いた連作集。何度も読み返したくなる味わい深い1冊です。

友情を発見する2つの物語

いまむら あしこ 作 にしざか ひろみ 絵/『なきむし』



理論社
児童書

熊本県出身の児童文学作家・いまむらあしこさんの作品。転校をしてきた初日に「なきむし」とあだ名をつけられた男の子を描いた、「道徳」の教科書に採用されたお話と、いつもジャンケンに負けて友達のランドセルを運んでいる、「きかんぼ」な幼なじみを心配する男の子のお話を収録。友情を発見する2つの物語です。

「市船ソウル」作者と吹奏楽部の絆
中井 由梨子 著/『20歳（はたち）のソウル』

幻冬舎
一般書

2017年1月、多くの夢を抱えたまま、肺がんのため20歳で短い生涯を閉じた浅野大義さん。告別式当日、彼が作曲した市立船橋高校の応援歌「市船ソウル」を、吹奏楽部OBと仲間たち164人が演奏しました。「市船ソウル」作者と吹奏楽部の絆、そして告別式に起きた奇跡を辿る感動の実話です。2022年公開予定の同名映画の原作です。

料理のプロ6名が教える暮らしのアイデア
高橋 みどりほか著/『機嫌よくいられる台所』

家の光協会
教養娯楽

暮らし上手、料理上手な6名の方に、料理の段取り、整理術、道具選びなど、台所にまつわる10のルールを教わります。紹介するアイデアは具体的で、誰もがすぐに実践できるものばかり。日頃のちょっとした習慣や物の置き場所、掃除方法を見直すことで、家事がもっと楽しく、ラクになります。すぐに役立つ1冊です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

私のおすすめの本は、「メガネと視力のひみつ」です。視力がどうやって下がるのか、近視はどういうものなのか、分かりやすく書かれていますのでとてもためになります。

メガネのレンズについても、自分の目にあったレンズとか、運動する人はまぶしくないようにするレンズとか、いろいろと書かれています。おもしろいです。

今月の案内人



毛利 環那さん
〔北早川区〕

メガネのフレームも、細いフレームだと自分の顔と雰囲気があんまり変わらず、太いフレームだと変

Read This Story!

～ My Favorite Story ～
私のおすすめ図書

『メガネと視力のひみつ』（ひろ ゆうこ 著）

黒板の文字が読みづらい……。学校で視力検査を受けた小学5年生の陽太は、初めてメガネをつくることに。陽太といっしょにメガネと視力のひみつを探ろう。

わって見えるそうです。メガネについて、いろいろなことが分かるし、おもしろくて勉強にもなります。

私も視力が下がってきていて、今メガネをかけるか、かけなくていいのか、ぎりぎりのところなんです。もしメガネをかけるとしたら、フレームの細いメガネをかけたいです。理由は、自分の顔と雰囲気をあんまり変えたくないからです。

メガネをかけようかなと思っている人は、ぜひ読んでみてください。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447（内線331）

Public Hall

町公民館からのお知らせ

▶町公民館自主講座のお知らせ

甲佐町公民館講座は22講座

町公民館では、手工芸教室4講座（パッチワーク、水彩画、水墨画、ビーズアクセサリー）、料理2講座（おとこの料理、お菓子とパン）、文化・教養4講座（相撲甚句、短歌、書道、朗読教室）、音楽3講座（オカリナ、大正琴、町民コーラス）、スポーツ・健康9講座（社交ダンス、健康太極拳、ストレッチヨガ、キッズダンス、3B体操、フラダンス、レクリエーションダンス、ポハイクアロハ・フラミナミA、ひまわりダンス）の全22講座で活動を行っています。

現在、新型コロナウイルスの影響により活動を自粛している講座もあります。最新の活動状況については、事務局へお尋ねください。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

を学ぶ」を開催しました。町福祉課の田上ゆみ介護保険係長が講師となり、介護保険のしくみについてわかりやすく解説。参加した



▲田上係長（左）の説明に耳を傾ける船津区の皆さん

地域に要望に応じた防災に関する講演などを通して、

町民10人が防災への備えについて学びました。町民館で町くらし安全推進室の佐々木善平室長が講演を行い、参加した上豊内区住民10人が防災への備えについて学びました。

町広報紙でもお伝えしたように、防災における『大丈夫』は絶対にありません。皆さんの大切な命を守るの

は、行政でもご家族でもなく、皆さん自身です。その覚悟をまずは持ちましょう。命を守るための努力をお願いします」と強く呼び掛けました。

町公民館出前講座 地域防災について考える

船津老人クラブの16人が、利用できるサービスや制度を支える介護保険料の変更点などについて学びました。田上係長は、「介護や支援が必要と感じたら、地域包括支援センターに相談してください。地域で自立した生活を送るために、介護予防を考えましょう」と呼び掛けました。



▲上豊内区の皆さんに災害への備えを呼び掛ける佐々木室長（右）

いざという時の備えについて、住民の意識啓発に努めています。佐々木室長は「6月号の

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■災害と人権。 誰もが不安だから。

●それぞれの特性やニーズに配慮して
わが国では、これまで、阪神淡路大震災や東日本大震災のほか、台風や豪雨などの災害が、地域に大きな被害をもたらしてきました。本県でも、平成28（2016）年に熊本地震、令和2（2020）年に7月豪雨が発生し、いずれも甚大な被害をもたらしました。

災害では多くの人命が危険にさらされますが、中でも、高齢者や障がい者など避難の際に支援を要する

方々（避難行動要支援者）や、高齢者、障がい者、外国人、乳幼児、妊娠婦など避難所生活等において特に配慮を必要とする方々（要配慮者）にとっては、それぞれの特性やニーズに配慮した対応が必要です。

●避難所において

プライバシーの確保や、要配慮者の特性やニーズに応じた配慮、障がい者、女性や子どもなど緊急時に弱い立場になる方の安全確保等の環境の整備、被災者の心のケアなどの支援が必要になります。

●防災教育・啓発の推進

熊本県では、災害時における人権への配慮についての理解を深めるため、県民への啓発や学校における防災教育に取り組みます。

人権研修テキスト「人権全般編」（令和2年度熊本県発行）より作成

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)